

テーマ 「いただきます！」

岐阜県岐阜市立長良西小学校PTA 会長 森井隆裕 小森晶子
梅村 章 森 栄次

(1)「いただきます！」活動のきっかけ

私たち親が、子どもたちに伝えていきたいことはたくさんあります。その中でも私たち長良西小学校PTAは、「食べることの大切さ」を子どもたちに伝えていくことに取り組んでいます。その取り組みの活動を、“長良西小・食育の取り組み”「いただきます！」と銘打ち、家庭で楽しく挑戦しています。

長良西小学校には毎年11月に行う、「PTA祭」という伝統行事があり、平成21年度のPTA祭において「自分を大切にする食 人に優しくなる食」というテーマで講演会を開催したことを契機に、PTAが主体となって「食の大切さ」を子どもたちに伝えていく取り組みをスタートさせました。

翌年22年度、全校児童がお弁当作りに関わる活動を通じて、食の大切さに気付くとともに、家族の絆を深めることを目的に「夢のお弁当計画」と称した取り組みをスタートしました。この取り組みは「お弁当の日」を設定して親子で一緒に作ったお弁当を学校に持ってきてもらうことに加え、ワークシートを配布し、実践後に感想などを記入して頂くという形で行いました。

平成23年度は、時間を多く取ることが出来る冬休みを利用して、家庭で親子が取り組むことができる「料理作り」を切り口として「レッツ、トライ、クッキング」という名称で行いました。

この2年間の取り組みは食の大切さに気付き、家族の絆を深めるという当初の目的について一定の成果を得ることができましたが、ワークシートに料理の絵や写真を記入するため、料理作りが見せる作品作りに偏ってしまうという課題が残りました。



この年、PTAで何度か食育に関する講演を聞きに行く機会を設け、「食育」の原点に戻りいろいろと議論し合いました。その結果、見せるためではなく、食材に対する感謝、作ってくれた人達に対する感謝、全てのことに感謝の気持ちを込めた、「いただきます！」というネーミングに変更し、翌年以降の取り組みを継続していくことにしました。

(2)感謝の心を育む取り組みへ

「いただきます！」に生まれ変わった平成24年度より、ワークシートにテーマを設けて、それまでの“料理を作ることを通じての学び”から、より視野を広げて“食事や

食材により深い関心を持ってもらい、感謝の心を育む”形の取り組みへと転換し、夏休みと冬休みに家庭で取り組む内容としました。平成24年度は「地産地消」、平成25年度は「栄養のバランス」をテーマとして、子供たちが日々触れる食事についてより深く知り、学んでもらうことを目的にテーマを設定しました。

また、平成25年度からは、子どもや保護者に、もっと「食べることに興味を持ってもらい、より親しみを持ってもらうことを目的として「いただきます！」新聞を創刊し、「いただきます！」のいろいろな取り組み方を発信しています。

保護者を対象に行ったアンケートの結果から、子どもたちが食に対して感謝の気持ちが弱い・偏食がある・食事のマナーが身につけていないという課題が浮き彫りとなったことから、平成26年度は「感謝して食べること」と「食事のマナー」をテーマに設定し、1～6年生までの児童だれも取り組みやすく、達成感を得やすい内容としました。

その結果、「料理をつくる」ことばかりではなく、「買い物に行くこと」や「食材を育て収穫すること」「配膳や後片づけ」また「料理や食材を調べ研究すること」などさまざまな切り口から「感謝」の気持ちを育んでもらうことができました。



(3)まとめ

私たち長良西小学校の「いただきます！」は、親子一緒に食育をテーマに取り組んでいます。毎年少しずつ手法を変える事、またはネーミングを変える事で、活動の趣旨を全校児童、あるいは家族に伝えてきました。この活動を通じて、子どもだけでなく、私たち親も一緒になって食の大切さ、食に携わる方への感謝の心が育まれて行くのだと信じています。